



令和5年2月19日（日曜）二戸市堀野の生きいき交流センター



にこにこ食堂ざしきわらしの家

外はシーンと雪景色、会場はワイワイガヤガヤ大盛況！



へっちょこだんごづくり体験には10数人が参加。



のぼり旗で出迎えも、ちょっと寒かったかな。

2月19日の来場者は、保護者を含めて29人でした。ほとんどが、会場の生きいき交流センター隣の中央小学校の児童たちです。ボランティアは11人。総勢40人の大盛況でした。

食事代はいりません、予約も不要です——というやり方が、気楽で良いのかもしれません。

メニューは、けんちん汁に鶏のから揚げ、へっちょこ団子です。30食限定の昼食でしたが、多めに作ったのでボランティアもイベント終了後に頂きました。食事前の30分間で子どもたちに体験してもらったへっちょこ団子づくりが、とても好評でした。

ここにこ食堂ざしきわらしの家としては、昨年11月13日（日曜）に続いて2回目の子ども食堂イベントでした。私たちは、こうしたイベントとは別に、二戸市堀野地区に古い木造2階建ての民家を借りて、拠点としての居場所づくりも進めています。リフォームに費用がかかることもあるっては遅々とした歩みですが、5月ごろの開所を目指しています。地域の皆さまのご支援をお願いするばかりです。

目指すは「子ども真ん中に みんな笑顔で福くる」です。子どももお年寄りも集うことができるような居場所づくりです。それが中村久美子代表の思いです。

子どもたちの声

☆ から揚げは、お肉がやわらかくておいしかったです。（中学1年・女子）

☆ へっちょこだんごのだんごを初めてねってみて、とてもあつくて、手につきました。今度はマカロンをつくってみたいです。（小学4年・女子）

☆けんちん汁、おいしかった。ちょっと量が多かった。（小学5年・女子）

☆へっちょこだんごは、だれでもできるようだんごでした。
(小学1年・男子) だれが作っても失敗しないので、不器用な子でも楽しいと思いました。（母親）

☆へっちょこだんごは、ねつとうでつくらないといけないことがわかりました。（小学1年・女子）

☆家では、きび粉をなどを使って料理する機会がなかなかないので(へっちょこだんごづくりは)とても良い体験でした。
添加物なしの本物の味を味わえることは子どもたちに良いことだと思います。（保護者、母親）



左上の写真は、にこにこ食堂ざしきわらしの家中村久美子代表（写真右）と、調理総括の安藤直美さん（岩手県食の匠）。今回イベントには、トリ肉、米、缶ジュース、あんぽ柿などの食材のほか、除菌スプレー類の寄贈がありました。子ども食堂を支え、支援してくださる多くの皆さんに感謝申し上げます。

文責 *ざしきわらしの家管理人（事務局）田中信明